

生徒代表喜びの言葉

本日、本校は創立110周年を迎えました。私たちは、この節目の年に1生徒としていただけるということ、また、このような盛大な式典に、多くのご来賓の方々と共に参加できますことを誠にうれしく感じております。さらに、創立から今までの諸先輩方の苦労や努力が積み重なって長岡農業高校の歴史は築かれてきました。その歴史を引き継いで私たちが長岡農業高校で学んでいることに、大きな幸せと責任を感じています。

私は、農業に魅力を感じ、農業を学びたく長岡農業高校に入学しました。実際に入学し、農業を学んでみると、奥深く、多岐にわたり、様々な分野がある事を知り、1年生の時には自分たちがふ化させたニワトリをと殺し、それを解体して試食する体験は、今でも衝撃的に体験として記憶に残っています。これこそ、本当の農業である事を痛感させてもらいました。今私は、園芸科学コースで草花を中心に学んでいます。先日に行われた長農祭では、私たちが育てたシクラメンが、お客様から綺麗ですね。と言われ買って頂いて、夏場の暑いハウス内の作業や、冠水などやっていると大変でしたが、綺麗ですね。の一言でやってきた苦労も忘れ、感動しました。農業は、手をかければ、手をかけるほど植物は裏切ることなく育ってくれる。手を抜けば、それなりの結果しかでない。農業で人生そのものを学んでいるような気さえ起こります。

これから私たちは、未来を担う一員として社会に出て行きます。長農で学んだこと、経験したことを生かし、社会で起こりうる問題に立ち向かい、皆と協力して、前へ前へと進んで世界をも動かして行く責任が課せられています。そして、将来多くの人と出会い、成長し続け「勇気ある農業人」として、未来の日本が船出をする原動力になっていきます。

最後になりましたが、長岡農業高校の更なる発展のためにこれからも一步一步たゆみなく歩み続けることを誓って生徒代表のあいさつとさせていただきます。